

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷口小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 算数の「数と計算」領域において、基礎的な計算の力が十分に身につけていない。また、「図形」領域の知識・技能に課題が見られる。</p> <p><指導上の課題> 児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。</p>	⇒ 「ドリルパーク」「スタディサプリ」「問題集等のドリル類」を活用し、基礎的な計算や図形の問題の反復・習熟に取り組む。その際、児童の学習状況、学習履歴を確認し、計画的に学習に取り組む。【朝学習の時間に20分の実施】
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 国語の「読むこと」、算数の「変化と関係」「データの活用」領域の正答率が低い。</p> <p><指導上の課題> 「自分の考えをしっかりともつための時間の確保」や「考えたことを的確に表現する活動」の設定が不十分である。</p>	⇒ 授業の中で、自分の考えをもつための時間を十分確保する。考えたことはしっかりとノートに表現したり、ペア対話、小グループ対話を取り入れて表現したりする活動を多く取り入れる。【毎授業で実施】【さいたま市学習状況調査「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできずかの質問項目において、肯定的な回答の割合が85%以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語の主語・述語の関係をつねる問題に課題がみられた。解答類型をみてみると、述語に近い部分にある単語を主語と捉えている児童が多く、主語に対する理解が不十分であると考えられる。算数では、除数が小数の場合の割り算の問題に課題がみられた。解答類型を見ると、計算のアルゴリズム自体は理解しているものの、除数を整数に直して計算することの理解が不十分であると考えられる。「児童質問」において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」における肯定的な回答の割合は87.5%であった。子ども主体の学びとなるような授業を今後も継続していく。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語の自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題に課題がみられた。また、算数では速さの問題で、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く問題に課題がみられた。このことから理由を筋立てて説明することを苦手としていると考えられる。「児童質問」において、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」における肯定的な回答の割合が76.8%であった。授業の中で自分の考えをまとめる場、発表する場を多く設け、その振り返りを確実に行う学習を今後も継続していく必要がある。</p>	

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	「ドリルパーク」「スタディサプリ」「問題集等のドリル類」を活用し、基礎的な計算や図形の問題の反復・習熟に取り組むことができている。今後も、児童の学習状況、学習履歴を把握し、日々の授業や朝学習の時間等で、計画的に取り組んでいく。	変更なし
思考・判断・表現	B	各教科の授業で、自分の考えをもつための時間を十分確保し、考えたことをノートに表現したり、ペア対話、小グループ対話を取り入れて自分の考えを表現したりする活動を多く取り入れることができている。話し合い活動を通して、意欲的に学習に取り組む姿が多くみられるようになってきている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)